

放送倫理・番組向上機構[BPO] 2018年度第1回 理事会 議事録

1. 日 時 2018年5月25日(金) 午後4時～5時
2. 場 所 放送倫理・番組向上機構[BPO] 第1会議室
3. 出席者 濱 田 理事長
三 好 専務理事 高 橋 理事・事務局長
坂 井 理 事 藤 久 理 事
山 野 理 事 荒 木 理 事
伝 川 理 事 木 村 理 事
貝 賀 監 事 沖 山 監 事
＜欠席＞ 行 成 理 事（議長に議決権委任）

4. 議 題

- (1) 2017年度 業務報告・決算報告
- (2) 評議員選任の進捗状況について
- (3) その他

5. 配付資料

- (1) 2017年度 BPO年次報告書 ＜概況＞
- (2) 2017年度 決算報告書
- (3) 正味財産増減計算書の概要
- (4) 正味財産増減計算書（予算対比）
- (5) 2018(平成30)年度 BPO評議員

6. 議 事

冒頭、高橋理事・事務局長から、「行成理事の理事長宛委任状を含め、BPO規約第15条2項の規定(過半数の理事の出席)により、理事会は有効に成立する」旨を報告の後、議事に入った。

(1) 2017年度 業務報告・決算報告

<業務報告>

高橋理事・事務局長から、2017年度のBPO活動について、資料1に基づき概要、以下の報告を行い、全会一致で了承した。

○ 放送倫理検証委員会は、以下の3事案について「委員会決定」を通知・公表したほか、一つの「委員長談話」を公表した。

- ・TBSテレビ『白熱ライブ ビビット』
「多摩川リバーサイドヒルズ族 エピソード7」に関する意見 (2017年10月5日 通知・公表)
- ・東京メトロポリタンテレビジョン『ニュース女子』
沖縄基地問題の特集に関する意見 (2017年12月14日 通知・公表)
- ・フジテレビ『とくダネ!』
2つの刑事事件の特集に関する意見 (2018年2月8日 通知・公表)

<委員長談話>

- ・インターネット上の情報にたよった番組制作について（フジテレビ）
(2017年9月8日 公表)

- 放送人権委員会は、以下の3件の「委員会決定」を通知・公表した。
 - ・フジテレビ「都知事関連報道に対する申立て」
見解：要望あり[少数意見付記] (2017年7月4日 通知・公表)
 - ・テレビ静岡「浜名湖切断遺体事件報道に対する申立て」
見解：要望あり (2017年8月8日 通知・公表)
 - ・東京メトロポリタンテレビジョン「沖縄の基地反対運動特集に対する申立て」
勧告：人権侵害あり (2018年3月8日 通知・公表)
- 2017年度も、同一番組(東京メトロポリタンテレビジョン『ニュース女子』)について、放送倫理検証委員会が審議し、放送人権委員会は放送で取り上げられた人からの申立てを審理し、それぞれ委員会決定を公表するという事例があった。同一番組を複数の委員会が取り扱う傾向がここ数年、目立つ。
- 青少年委員会は、審議事案はなかったが、3年に一度の調査研究の最終年度にあたり、「青少年のメディア利用に関する調査～青少年のテレビ・ラジオに対する行動・意識の形成と、その関連要因に関する横断的検討」を実施し、その調査結果を2018年3月に報告会を開催し発表した。2018年度中に「調査報告書」を刊行予定。
- 2017年度の「視聴者意見」の総数は22,026件、メールによる意見は76%。最近は、ネットでの呼びかけにより、同じような意見が何件も寄せられるケースが増えている。
- 「BPO事例研究会」を7月と2018年2月の2回、「BPO年次報告会」を2018年3月にそれぞれ開催し、3委員会の決定等の理解促進に努めた。
- 委員と各放送局との「意見交換会」は、3委員会が7地区で延べ9回開催したほか、委員や役員・調査役が各放送局の社内研修会などに出向いてBPOの設立経緯や機能・使命などを解説する「講師派遣」を15回、報道機関からのインタビュー取材など「外部団体やメディアとの連携」を12回、実施した。

<決算報告>

三好専務理事から、2017年度の決算について、資料2・3・4を基に概要、以下の報告を行った。
注:金額の説明は万円単位

- 経常増減の部の「経常収益」は、受取会費など合計4億548万円と、前年度とほぼ同額。「経常費用」は、事業費が2億9,787万円と、前年度比1,175万円の増額。内訳科目ごとの増減内容は、以下のとおり。
 - ・放送人権委員会費は、審理入り事案数が前年度より少なかったことにより「委員報酬」と、調査役の人事異動の関係で「福利厚生費」がそれぞれ減額したものの、申立件数の増加傾向が続いていたことから委員と調査役を各1人増員したため、全体で34万円の増額。
 - ・放送倫理検証委員会費は、調査役2人の交代により「調査役人件費」と「福利厚生費」がそれぞれ減額したものの、4月から委員が1人増員となったことから「委員報酬」が増額し、全体で94万円の増額。
 - ・青少年委員会費は、「青少年調査」の調査最終年度にあたり、アンケート調査や調査分析を実施したことから「青少年調査費」が増額したほか、調査役2人の交代で

「調査役人件費」が増額したことにより、全体で927万円の増額。

- ・ 視聴者関係経費は全体で52万円の増額。
- ・ 広報関係経費は全体で31万円の減額。
- ・ 委員会共通費は全体で96万円の増額。
- 管理費は前年度より150万円の増額。
- 事業費と管理費を合わせた「経常費用計」は4億126万円と、前年度より1,326万円増額したが、「当期経常増減額」は422万円のプラス。
- 経常外増減の部は、「当期一般正味財産増減額」は420万円のプラス。
- 2017年度末の資産総額は1億5,955万円(前年度比226万円増)、負債総額は9,433万円(前年度比193万円減)で、正味財産額は6,521万円(前年度比420万円増)。

続いて貝賀監事から、「5月16日の午後、BPO事務局内において、沖山監事とともに2017年度業務と決算の概要説明を受けた後、会計上の帳簿等を監査した結果、役員の職務執行状況ならびに会計処理は適正であることを確認した」との報告があった。

以上の報告の後、2017年度決算を全会一致で承認した。

(2) 評議員選任の進捗状況について

三好専務理事から、評議員選任の進捗状況について、資料5「2018(平成30)年度 BPO 評議員」に基づき以下の報告を行い、了承した。

「3月末で任期満了により退任された半田議長と、辻井・藤原両評議員の後任候補者として3月理事会で選任いただいた、大日向雅子さん(恵泉女学園大学学長)、里中満智子さん(漫画家)、遠山友寛さん(弁護士)のお三方からは内諾をいただいております、5月中には正式な就任手続きを完了する予定。これにより、議長の宮原賢次さん、現評議員の内館牧子さん、堀田 力さん、坂東 眞理子さんに、新しい3人の評議員が加わることとなる」

(3) その他

三好専務理事から、最近のBPO環境と活動状況について、① 近年、委員会に対して地方公共団体や市議会議員など“公人”からの意見等が多くなってきている、② 放送倫理検証委員会は、4月から神田安積委員が新委員長に就任し、神田委員長からは是枝裕和代行と升味 佐江子代行が委員長代行に再指名された。委員会設立以来、委員長を務められた川端和治さんには放送倫理検証委員会の調査顧問に就任いただいた、③ 放送人権委員会は、4月から奥武則代行が新委員長に就任し、奥委員長から市川正司代行と曾我部真裕委員が委員長代行に指名されたほか、廣田智子さん(弁護士)が新委員として加わった、④ 青少年委員会は、4月から榊原洋一さん(お茶の水女子大学名誉教授、小児科医)が新委員長に就任し、榊原新委員長から緑川由香委員が新副委員長に指名されたほか、5月委員会から吉永みち子さん(ノンフィクションライター)が新委員として加わった—

一ことなどを報告した。

以上の後、内閣府・規制改革推進会議の動向などの情勢報告が行われ、報告を了承した。
最後に、伝川理事、木村理事、貝賀監事から退任の挨拶があり、閉会した。

以上